

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	980	情報化教育推進事業	会計	01	一般会計
基本施策	31	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める	款	10	教育費
担当部課名		教育部 学校教育課	項	01	教育総務費
作成者氏名	加納 圭子	連絡先 22-9676	目	03	義務教育振興費
			細目	108	情報化教育推進経費
			細々目	01	情報化教育推進経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を) 市内小中学校児童生徒	成果(どうなるのか) 各小中学校のインターネット活用環境が整備されることで、子どもたちへの情報教育が充実し、子どもたちの情報活用能力が向上します。		
本年度事業内容	1. 各小中学校における情報機器の管理及び整備			
開始年度	平成 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.16	0.14	0.14
人件費合計(A)	1,152	1,008	1,008
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	25,944	11,682	15,626
委託料	19,368	7,283	12,500
使用料及び賃借料	1,831	2,919	3,000
その他	4,745	1,480	126
合計(A+B)	27,096	12,690	16,634
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	27,096	12,690	16,634
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
情報機器整備校数	校	38	38	38			
パソコン整備台数	台	80	200	200			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
情報機器を活用した授業実施回数	コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を子どもたちが積極的に活用できるようになるため、中学校技術家庭科以外の教科指導においてもパソコン操作を導入した授業の工夫をしています。実施した授業回数を指標としました。	回	550 目標 (616)	620	620
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

市内各小中学校の情報機器については、子どもたちが個々にコンピュータを活用できるように、順次、整備しています。

評価	必要性	4	子どもたちの情報機器活用範囲は、ずいぶん広範囲になっています。また、技術についても向上しています。今後、情報活用時のマナーについては、十分指導していかなければならないと考えています。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	4		